

Governor's Monthly Letter

2011-'12年度
国際ロータリー第2770地区



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために 奉仕の精神で地球を抱きしめよう

2011.09
第3号

ガバナー月信



国際ロータリー第2770地区
ガバナー 三國 明

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂1-2-1-116
エイベックスタワー東館1階
TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011
E-mail : ri2770-184@plum.plala.or.jp

◇春日部市「彫刻のある街」

春日部駅東口を中心としたまちかどで出会う彫刻たちは「彫刻のある街づくり」として設置されたものです。季節の移ろい、朝夕の光の加減で刻々と表情を変える彫刻たち。作者が、彫刻たちに託したメッセージが感じとれます。22箇所にある彫刻を巡るアートウォークで楽しめます。

今月は新世代のための月間です

2011-2012年度ガバナー 三國 明



2010-2011年度に新しく第5の奉仕部門になりました。

国際ロータリーの常設プログラムであり、インターアクト、青少年交換、ロータリーアクト、ライラなどがあり、いずれも大変重要な部門であります。RIにはいろいろな奉仕活動がありますが、若人の教育にはもっとも力を注いできた歴史があります。私たちの次の世代を担う人々が正しく育ち、地域社会や人のためになるような生き方をするように導いていく必要があるからです。昔、かのトーマス・カーライルが言ったように、17、8才代の時は誰しも、100%利己主義である。嫌みの極限である。学業を積み、恋人が出来るようになり、他人のことを考えるようになる。妻や子供が出来、社会に出て仕事し成長を遂げると共に利己主義はうすれ、晩年になるとほとんど消え去っていく。若人に社会人となるための準備をうながし、心に慈善と博愛の心を育て、ロータリーの良き理解者となってもらうことは、我々の大事なミッションである。今年度の地区の最重要課題であります。なんと言っても一番大切なことは、提唱または世話ロータリークラブがこれら若人とのコミュニケーションを密に取ることによって、彼らを導き、彼らを育てていく事に熱心に取り組むことです。そして、新世代に関する標語、「すべてのロータリアンは若人の模範である。」を強く意識して下さい。彼らにリーダーシップを育て、社会の仕組みやあらゆる職業に対する尊重の念を植え付け、世界や地域社会の為のボランティア活動の大切さを認識し、ロータリーの良き理解者となって貰えるように、我々ロータリアンが努

力しなければなりません。今年は青少年交換において、東日本大震災による多大な影響が出ました。彼ら交換留学生の帰国問題、これまでとは違う観点からの危機管理問題。そのほかにも従来からの、ホストファミリーやスポンサークラブ問題。そして資金不足問題です。

新世代のうち、とくにロータリーアクトは年齢から言っても最も我々に近い存在であり、ロータリーの未来を託す世代であります。この点から考えると、その接し方や、働きかけの点において、我々ロータリアンにも反省すべき点は多々あると思います。特に提唱クラブや地区の委員会は彼らともっと接触を深めましょう。かれらは、我々の働きかけを待っているのです。コミュニケーションの第1歩はクラブ会報、ガバナー月信、ロータリーの友を彼らに毎回発送して下さい。第2は彼らの催しもの際には、かならず提唱クラブや地区の委員を派遣しましょう。第3は、ロータリーのいろいろな催しもの際には、機会ある毎に彼らを招きましょう。クラブの周年行事、家族会、クリスマス会、新年度発足例会、IM、地区協議会、地区大会、部門ゼミ等々です。特に新世代月間には彼らを卓話に招きましょう。平日頃のたゆまぬ接触が、彼らをはぐくみ、大きく育てることでしょう。わたしたちは地域社会においては彼らの親です。自信を持って良き模範となり、鏡としましょう。彼らもかならずやロータリアンを尊敬し、ロータリーの良き理解者となることでしょう。ロータリー組織基盤の強化につながる遠くて近い道となることでしょう。

各クラス会長・クラス幹事へのお願い

- ①11月はロータリー財団月間です。それに向けてロータリー財団部門と相談し卓話の依頼などプログラムを充実させてください。そしてより多くのご寄付を宜しくお願ひします。
- ②次年度（2012-2013年度）ガバナー・ノミニエーのクラブ推薦期日は9月30日（金）です。候補者がいらっしゃいましたらお知らせ下さい。

9月の新世代月間に因んで

新世代部門委員長 片寄 芳美 (越谷南RC)

新世代は第5番目の奉仕活動です。

今までのロータリーの4大奉仕に新たに第5番目の奉仕活動として「新世代」が創設されたことです。この奉仕部門の目的はそれぞれのクラブの奉仕の理念に、あるいはその実践活動の一つとして青少年と若き成人に光をあてることを目的としたものです。(12才～30才)までを対象とします。

新世代がロータリーの新たな奉仕部門です。新世代が大切なのは、ロータリーにとって未来ばかりではなく、私達の地域社会や世界全体にとっても言えることです。第5の奉仕部門となる新世代奉仕は、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて青少年と若者にとって好ましい変化をもたらすことを認識するものです。

三國ガバナーは「ロータリーに新風を」を地区テーマに掲げられました。特に新世代は明日を担う若者に対する奉仕活動を重点項目にしました。若人が未来に希望を持てるように、そして将来のロータリーのよき理解者、後継者になってもらう事業に取り組もう。

今年度も埼玉県教育委員会県立高校部生徒指導課より

「自分発見!! 高校生感動体験プログラム」について依頼が来ました。生徒が将来について考え、高校生活に意義を見出す契機となるよう、

1年生全員が5日間の就労体験を行う事業です。ぜひ、お近くでこのような要請がありましたら各クラブ、事業所で多くの高校生に就労の機会を提供して下さい。

就労体験の結果、生徒たちは礼儀作法やルールを守ることの大切さ、社会の厳しさなど様々の事を学び大きな成果を上げています。又、高卒生就職支援プログラムでも大変お世話になります。

もう一つ県のご支援をいただいた事業は「青少年交換留学生」事業です。

6月15日知事公館大会議室において今年の夏に出発する交換学生18名に「埼玉親善大使」の委嘱状を各々に手渡されました。現在も来年夏に出発する学生の募集をしています。

この事業は世界のロータリークラブが連携して行っているもので高校生を対象として一年間相互に交換留学し、言語、文化、生活、習慣を学ぶ体験をするグローバルな人材を育てるプログラムです。この事業に教育委員会より各高等学校長に推薦文を提示していただきました。

新世代部門は5委員会で活動します。すなわち新世代育成、インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換です。各委員会で独自の奉仕活動をしていますが、お互いの委員会の垣根を低くして相互に事業を行うようにしてまいりたいと思います。

9月のスケジュール

曜日	9月		曜日	9月		曜日	9月		曜日	10月	
木	1	川口	日	11		水	21	八潮イブニング	土	1	
金	2	三郷	月	12		木	22	栗橋	日	2	
土	3		火	13		金	23	秋分の日	月	3	地区大会記念ゴルフ
日	4		水	14	大宮	土	24	管理運営部門セミナー	火	4	岩槻東
月	5		木	15	越谷東	日	25		水	5	越谷北
火	6	鴻巣 幸手中央	金	16	部門委員長会議	月	26		木	6	鳩ヶ谷
水	7	庄和	土	17	広報部門セミナー	火	27	浦和西	金	7	
木	8		日	18		水	28	幸手	土	8	
金	9		月	19	敬老の日	木	29	越谷南	日	9	
土	10		火	20	春日部 松伏	金	30		月	10	体育の日

(注) 上の段は昼間の例会 下の段は夜間の例会



ローターアクトについて

国際ロータリー第2770地区ローターアクト 2011～2012年度 地区代表 河本 陽子

皆様、はじめまして。

国際ロータリー第2770地区ローターアクト今年度地区代表を務めます、河本陽子と申します。

この度は、三國ガバナーのご配慮により、ガバナー月信にローターアクトの紹介をさせて頂けることになりました。三國ガバナーのお心遣いに感謝申し上げます、少しでもローターアクトの知名度向上に努めてまいりたいと存じます。

はじめに、ローターアクトの概要を簡単にご説明させて頂きます。ローターアクトとは、国際ロータリーの青少年育成プログラムの一環として、18歳～30歳までの青年男女で構成されたクラブのことをいいます。学生・社会人を基盤として組織され、親睦と奉仕活動を通して、全世界の人々との間によりよい信頼関係・友情の輪を広げ、自己成長と相互理解を深めることを目的としています。

日本では、1968年に埼玉県の国際商科大学(現川越)ローターアクトクラブが誕生してから、現在では33の地区にローターアクトクラブが存在し、活動しております。

現在、当2770地区ローターアクトには9クラブ約70名のローターアクターが在籍し、提唱ロータリークラブのご指導のもと、日々活動しております。具体的には、チャリティバザーの開催、乳児院や児童養護施設のお手伝い、障害のある子供達との交流会、駅前・トイレ清掃等の奉仕活動や、卓話、親睦を深めるための交流会等を開催しております。

また、地区内クラブの中から、地区ローターアクト代表・幹事他、「地区理事会」が毎年選出され、全国ローターアクト間の情報交換や会議に出席したり、地区活動方針の策定、地区行事の企画・運営、地区内会議の主催、広報活動

等をおこなったりしております。

昨年度におきましては、年に1度、全国のローターアクター及びロータリアンの皆様が一堂に会する「全国ローターアクト研修会」のホストを当地区が務めました。多くのロータリアンの皆様にご指導・ご協力を頂き、2011年2月11日・12日に大宮にて「第23回全国ローターアクト研修会」を開催、無事盛会に終えることができ、地区内アクターの自信・達成感へと繋がったかと思えます。

2011～2012年度は、「百花繚乱-咲き誇れよ、若きカー」を地区ターゲットとして掲げ、若く新しいメンバーを地区理事会に起用し、彼らのもつエネルギーや個性を取り入れ、新しい発想を活かした年度にしていこうと考えております。

ここ数年、当地区は会員減少と定着率に悩み、地区理事会のメンバーも固定化しておりました。地区やクラブ運営を支えてきたメンバーが次々と卒業する中、若い世代の育成が急務となっております。そこで、今年度は新しいメンバーで地区理事会を組織し、彼らと共に「アクトの魅力とは何か」「アクトとして出来ることは何か」を新たな視点で考えてまいります。

また、今年度は、関東10地区のローターアクターが集う「関東ブロック研修会」のホストを当地区が務めます。会員が少ない中、2年連続で大きな研修会のホストという困難な状況をチャンスと捉え、飛躍する年度にしたいと思っておりますので、皆様のご指導・ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。

●今年度の当地区ローターアクト活動は、以下広報ブログで発信しています。ぜひご覧ください。

地区ローターアクト広報ブログ

<http://rotaract2770.cocolog-nifty.com/>



「ロータリー財団部門セミナー」の報告



7月16日(土)にラフォーレ清水園において、標記の部門セミナーが開催されました。

13時30分点鐘で、

当日は230名の方に登録を頂き、お陰様で好評の内に終了することが出来ました。

基調講演は津田パスト・ガバナーにお願いし、「未来ある奨学生に期待して」と言うテーマでお話を頂きました。「ロータリー財団へ寄付を決意された3つのこと」、そして「次世代を担う青少年を育成するために冠名国際親善奨学基金が設立された」と言う講演に、出席者の皆さんが感銘を受けておられました。また、10名のロータリー財団学友・派遣奨学生が出席して下さり、基調講演の中では2人の津田冠名国際親善奨学生から留学生活・現在の活動について報告がありました。財団奨学・学友小委員会の発表の中で、出席のロータリー財団学友・派遣奨学生全員から自己紹介を兼ねたスピーチがあり、皆さんにロータリー財団学友達の活動についてご理解を頂いたものと思います。次に、映像で

ロータリー財団部門委員長 鈴木 英男 (越谷北RC)

の東日本大震災の支援報告も好評のようでした。

各委員会の活動方針では、職業研修チーム小委員会の真野委員長から映像で三國年度にVTTの派遣を検討しているインド第3000地区に関する紹介があり、これから派遣研修生の募集をするについて、各クラブの皆さんにご理解頂いたものと思います。

最後に、北地区研修リーダーから、全体を通しての講評を頂き、時間通り17時15分に終了する事が出来ました。

セミナーの終了後に懇親会も開催させて頂き、皆さんで交流を図る事が出来ました。

また、セミナーの当日は、ポリオ撲滅に96,672円、東日本大震災支援に72,030円の募金のありましたことを、皆様に感謝を込めご報告させて頂きます。



「ポリオ撲滅チャリティー・バザー」協賛品提供のお願い

第7～第12グループの皆様へのお願い

地区ロータリー財団部門委員長 鈴木 英男

ポリオ・プラス委員長 名古谷 誠

皆様ご承知のように、ポリオの撲滅はロータリーの最優先課題であります。

1985年、国際ロータリーは、世界中の子供たちをポリオから守る、という歴史的な決断を下しました。それから20数年経った現在、世界はあと一歩でポリオの脅威から解放されるところまで来ています。

今年度、ポリオ・プラス委員会は、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの寄付に対するの同意事項、2012年6月30日までの「2億ドルチャレンジ」を達成するために、井橋ガバナー年度、三國ガバナーエレクト年度、2年間にわたりチャレンジする事に致しました。

本年度でチャレンジが終了となりますが、おかげさまで昨年度は第1～第6グループにお願いし、多数の物品を協賛いただきました。今年度は第7～第12グループの皆様にお世話になり

たいと思います。

さいたま市が開催するさいたま市誕生10周年記念事業に参加することにより、全クラブ参加型の「ポリオ撲滅チャリティー・バザー」の開催を計画しています。バザーの計画は次の通りです。

催物：ポリオ撲滅チャリティー・バザー
(さいたま市誕生10周年記念事業に参加)
日時：2011年10月8日(土)、9日(日)
場所：さいたま新都心「けやき広場」

就きましては、会員のご自宅や事業所等でお中元・お歳暮等で頂いた品物や、現在使われていない品物などを本バザーにご提供いただければ幸いです。

勝手なお願いではございますが、ポリオ撲滅の趣旨をご考慮頂き、皆様のご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

先輩より

ロータリーの活性化

パストガバナー 牧内 操



鳩ヶ谷にロータリークラブができて、創立会員として私が入会したのは、今から46年前の35歳の時だった。

当時は、東京・千葉・埼玉が一つの地区で、メーキャップには電車に乗って東京・有楽町で降りて帝国ホテルで開催されている東京クラブまで行ったものだ。入り口には岩佐凱実さん（富士銀行頭取）や堀久作さん（日活社長）が赤いたすきをかけて「やあーいらっしやい！どちらから？」と大きな声で迎えてくれた。「鳩ヶ谷クラブです」といったら「え？そんなクラブあったかな」「最近できた新しいクラブだよ」と一悶着あって「ところで貴方のお仕事は？」と訊かれて「税理士です」と答えたら「それでは○番テーブルへ行きなさい」。教えられたテーブルへ行って驚いた。そこには日本税理士会連合会長、前田幸蔵氏はじめ日本公認会計士会会長や業界の大先輩がずらりと並んでいた。まだ開業して間もない若造税理士としては身内の震えるほどの感激だった。（役職は当時のもの）

ロータリーは正に「人材の森」であり、様々なロータリアンとの出会いはまことにエキサイティングだった。それからの私は、ロータリーを純粋に理解し、勉強し、感謝・感激の思いでロータリーを体験していった。

あれから46年経って、時は移り、世は変わり、今、ロータリーは厳しい衰退期にある。

ロータリーの基本原則はぐだぐだにかき乱され、ロータリーの魅力が減退、若い人たちにとってもロータリーの素晴らしいメリットが見えなくなっている。

この現状をなんとかしなければ！というので、近頃しきりと「原点回帰」が叫ばれている。

ロータリーの原点は「職業奉仕」である。そしてロータリーの素晴らしいメリットは「人材の森」であることである。

私は自分がガバナーだった時、「ロータリーをもっと深く」をターゲットとした。禅の言葉に「冷暖自知」というのがある。冷たい、暖かい、は自分の手をつっ込んで知れ！というのである。ロータリーの本当の素晴らしさを判るためには、浅くのみ体験しては駄目、もっと深く・・・といたかったのである。

世の中、どこにでもあるようにロータリーにおいても「本音と建前」がある。格好やお体裁ばかりの「建前」は偽物である。「本音」はずばり本物である。

ロータリーの活性化のために、今、勇気をもって「原点回帰」を本音で実現しなければならない、と念じているが如何なるものであろうか。

一朝一夕のことにあらず

パストガバナー 半田 昭雄



月信担当の堀田さんから「クラブの活性化」について書くように頼まれました。

方法は色々あるとは思いますが、それは結局「会員を増強する」ことに行きつくのではないのでしょうか。今は非常に厳しい状況に置かれていることは認めざるを得ませんが、残念ながら現況は「増強」どころか寧ろ「減少」傾向に晒されています。

活性化のためには最低でもこの減少にガッチリ歯止めをかけねばなりません。

目標を達成するには、こと会員増強に限らず兎に角コツコツ粘り強くやる事が最も大切だと思います。（井橋年度は8月10日の確定報告で11名純増（2493名→2504名）でした。）

今から20年前、ガバナーエレクトの勉強会で私は当時の研修リーダー（大阪、ホテル経営）から、いくつかロータリー名言集というのを聞きましたが、その中に「一朝一夕のことにあらず」というタイトルで石工が岩石を割る情景を詠んだものがありました。それはこう言うのです。

「私は疲れたとき、よく石工が岩石を割るのを見に行く。およそ100回も打ったのに裂け目すら出来ない。しかし101回目の一撃で岩石は見事真っ二つに割れた。私は知っている。岩を割ったのは最後の101回目の一撃ではなく、その前に100回ものたゆまぬ努力があったのを……ジャコブ・ルイス」

私は子供のころ石屋の小倅として実際に何回もこの石を割る有様を見ていましたので、数ある名言の中で一番心にピッタリ来たのを今思い出しました。

私自身に対する反省も含めて披露し、私も老躯に鞭打って少しでも会員増強、退会防止にお役に立ちたいと思っています。

後輩より

平成23年3月7日入会 / 第4グループ

ロータリークラブの活性化について思うこと

田口 修身 (大宮西RC)

伝統ある大宮西ロータリークラブに入会して早いもので5ヶ月が経ちました。ロータリーといえば転勤先でもその地区の名士といわれるような方が所属し自分には少し敷居が高く、無縁の世界と思っていました。30年に及ぶサラリーマン生活に55歳で終止符を打ち地元でノンビリと仕事をして行こうと思っていたところ、1年前に旧知の会員さんより親睦ゴルフに誘われました。やはりその時も敷居が高く感じていました。しかし、今年に入りまた誘われたときに、何事も声を掛けていただき誘われるうちが華と思い加入させていただきました。

しかしながら、ロータリーの何たるかも分らず会員になってしまいましたのでクラブとしての活動を理解することからのスタートです。まず、例会は必ず参加する。今のところ100%出席です。次に、例会・委員会を通じてロータリー活動に積極的に参加する。今年は雑誌広報委員長に指名され、「ロータリーの友」を皆さんに案内する役割を仰せつかりましたので今までのバックナンバーを熟読してみるとロータリー活動について少しわかってきたような気がします。ロータリークラブの活性化については、例会・委員会に多くの会員が集い和気あいあいと参加して行くことができればより活性化していくと思われま。また多くの会員が集うためには私が感じていたロータリーの敷居の高さを感じなくなるようなイメージも大切かと思えます。熱心な諸先輩の指導を仰ぎ、自己研鑽しロータリー活動を楽しみに変えて行くことができればと思います。今後とも皆様方の御指導宜しく願いいたします。



平成22年1月7日入会 / 第9グループ

クラブの活性化について思うこと

石塚 恭央 (八潮中央RC)

私は昨年一月七日付で入会させて頂きました。何も判らないまま一年半が過ぎましたが、今回このテーマを頂き、自分なりに思うことを書かせて頂きます。

まず、例会時毎回違う会員の方と席を一緒にさせて頂く事で、色々なお話をさせて頂けるといいます。各部門、各委員会はどんどん、家庭集会を実施し、話し合いを重ねることが大事だと思います。そして、意見はどんどん発言する。その発言を基にさらに議論を重ねる。家庭集会の意見、議論は委員会報告にて発表し、クラブにてさらに意見交換をする。これが、クラブを活性化するのではないかと思います。

クラブ例会に出席しないと、話し合いにも参加できない。どんどん参加し、意見交換をする。すなわちクラブ例会出席が一番の活性化であります。

ロータリークラブは奥深いです。私もクラブが活性化出来る源になれるように頑張りたいと思います。宜しく、ご指導ください。本日はこのような機会を頂き、ありがとうございました。

◆◆◆ 東日本復興支援チーム構成メンバー紹介 ◆◆◆

議長	三 國	明	ガバナー
顧問	北 清	治	研修リーダー
参与	井 橋	吉 一	直前ガバナー
参与	岩 渕	均	地区R財団委員長・PDG
委員長	隅 内	道 三	国際奉仕部門委員長
委員	田 中	徳 尚	ガバナーエレクト
委員	渡 辺	和 良	ガバナーノミニ
委員	菊 池	和 彦	国際奉仕委員長
委員	池 畑	秀 夫	社会奉仕部門委員長
委員	下 和	雄	財団補助金委員長
委員	吉 成	幸 男	広報部門委員長

左記メンバーを主体として今回の東日本大震災に対しての復興支援活動を進めております。

7月29日(金)で第3回の会議を終えました。今後、復興支援プロジェクトを各クラブへご案内してまいりますので宜しくお願い致します。

公式訪問レポート（ガバナー公式訪問を終えて）



三國明ガバナー、第4グループ久下良夫ガバナー補佐、猛暑の中、ありがとうございました。

▶ 大宮南西 RC ◀

例会日：平成23年7月14日（木）
 会長：福田 和子／幹事：橋本 龍彦

真夏の太陽が照りつける7月14日、三國明ガバナー、第4グループ久下良夫ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催させていただきました。ガバナーからは懇談会、協議会を通じて地区テーマ「ロータリーに新風を」について実例を挙げながらご説明いただき、そして当クラブの現状を踏まえ、本年度活動に対する的確で力強いアドバイスをいただいたことは会員一同大変心強く感謝しております。ガバナーのご指導の下、この一年頑張っておりました。

▶ 上尾北 RC ◀

例会日：平成23年7月15日（金）
 会長：榎本 武司／幹事：岸井 幸弘

7月15日、三國明ガバナー、尾花正明ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会が開催されました。例会の前に会長、幹事、会長エレクトとの面談ではクラブの現状を説明させていただきましたが、奉仕活動を行った際の会員増強の方法等ご教授いただきました。例会ではRI及び地区の方針をわかりやすく説明いただきました。また、今回の東日本大震災に対するガバナーの思いに胸を熱くいたしました。その後のクラブ協議会では的確なアドバイスをいただき、今後のクラブ運営に生かしていきたいと思っております。有り難うございました。



▶ 越谷中 RC ◀

例会日：平成23年7月19日（火）
 会長：仲 文成／幹事：山崎 晶弘

今年度から例会場を移し、三國ガバナー、大野ガバナー補佐のお二人をお迎えして、新例会場で初めての公式訪問例会でした。

三國ガバナーには思い切ってやってください、そして継続はもちろんですが改革をし、今までのやり方をしてくださいと指導を受けました。改革とは、今までのやり方の延長線上ではなくゼロからやり直すくらいの覚悟でなければ会はず変わるよと言われてきました。会長のリーダーシップ

を発揮し、全会員の力を終結すれば、素晴らしいクラブになるよと、励ましてくださいました。三國ガバナー、大野ガバナー補佐のお二人は、それまでの私が勝手に想像していた方とは、まるで違う人でした。本日お会いして私は、お二人を大好きになりました。このような素晴らしい方の下で、少しでもお力にならなければと思ったのは、私だけではなかったのではないのでしょうか？今年度が始まったばかりですが、一年間頑張りますので、これからもご指導お願いします。暑いところありがとうございました。

▶ 岩槻中央 RC ◀

例会日：23年7月20日（水）
 会長：伊達 久雄／幹事：阿津沢 清

7月20日（水）三國ガバナー、第4グループ久下ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問を実施いたしました。

ガバナーからは地域密着型の社会奉仕活動の継続と長期計画に基づく会員増強の大切さをご指導いただきました。また、終了後の懇親会まで参加していただき、和やかな中での交流を深めることができました。



▶ 八潮中央 RC、八潮シティ RC、草加21RC 合同例会 ◀

例会日：平成23年7月21日（木）
 会長：坪田 祐貴／幹事：高橋 洋一

●八潮中央 RC
 今年度始まって3週目と、早い時期の7月21日にガバナー三國明様、ガバナー補佐金杉光左生様をお迎えして、ガバナー公式訪問を行いました。

今回は初めての試みとして、八潮中央 RC、八潮シティ RC、草加21RCの3クラブでの合同公式訪問例会となりました。

例会でのガバナーの卓話では、RIのテーマや地区の運営、活動方針などを丁寧に教えていただきました。クラブ協議会にお



いても、各委員長の活動計画発表ごとに助言やご指摘・講評をいただき、今後の3クラブにとってのロータリー活動へ向けて、大変有意義な時間となりました。また、例会終了後の、懇親会にもご出席いただきまして、さらに懇親を深めることができました。三國ガバナーの気さくな人柄に触れる貴重な懇親会でした。

大変暑い中、長丁場での公式訪問でしたが、ご訪問いただいた三國ガバナー、金杉ガバナー補佐には、心より感謝を申し上げます。くれぐれもお体には気をつけて、これから一年間宜しくお願い致します。

●八潮シティRC

会長：伊藤祐嗣 幹事：内田 巖

去る、7月21日(木)10:00~16:00八潮楽習館に於いて、八潮中央RC・草加21RC・八潮シティRCの3クラブ合同の公式訪問が行われました。初めての3クラブ合同公式訪問とあって、リハーサル例会も合同で行い準備をして臨みました。三國ガバナーとの面談そして卓話を緊張の面持ちで臨みましたが、ガバナーの貴重なそしてわかりやすいお話を伺いながら、私達のクラブの問題点を話し、忌憚のないご指導をいただきました。このことは期初めの我がクラブにとって大変に参考になりました。そしてクラブ協議会では部門ごと丁寧なお話をいただき、終わって一日お疲れの中、懇親会まで出席いただきまして本当にありがとうございました。

三國ガバナー様には益々のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

●草加21RC

会長：小林 利雄/幹事：浅川みどり

過日、7月21日に八潮中央RCと八潮シティRCと私達草加21RCとで3クラブ合同でガバナー公式訪問例会を行いました。3クラブ合同ですのでガバナー公式訪問例会に向けて私達はガバナー事務所にて事前にガバナー面談を行って参りました。緊張した趣でのスタートでしたがガバナー三國明さんのお人柄でしょうか、それとも広い寛容の心をお持ちなのか和やかそして真剣な眼差しでの面談でした。会員数の少ないクラブの、長所短所そしてクラブ運営のあり方等お話頂き感謝の気持ちでいっぱいですが、又、今回の東日本大震災における各ロータリアンの迅速な奉仕活動など詳しくお話頂きました私達も諸先輩方々を見習って自分自身を品位あらしめなくてはと感じた次第です。年度初めに新入会員を迎えることができ、この出会いを大切にしていきたいと、会員全員で喜んでいます。

▶ さいたま新都心RC ◀



例会日：平成23年7月25日(月)

会長：野辺 博/幹事：小川 毅

懇談会→昼食→例会(卓話)→クラブ協議会の順に実施され、例会では2名の新会員入会式も執り行われました。

ガバナーから、R財団・米山寄付に関し、毎年地区目標を十分達成している当クラブは、むしろR財団資金の活用を検討されたい等の要請を受けました。また米山学友の活躍や同学会からの多額の震災寄付のお話は、米山奨学生をもつ当クラブ会員の胸を打つものでした。

更に、職業奉仕重視の当クラブは基本がしっかりしているとお褒めの言葉を頂戴し、決議23-34の歴史を振り返るのが重要だとの貴重なご指摘をいただきました。

▶ 川口東RC ◀

例会日：平成23年7月26日(火)

会長：高橋 保央/幹事：今泉実智信

当クラブ例会場にて、三國明ガバナー・山本孝ガバナー補佐をお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先だつての懇談会では、当クラブの現状・中長期計画・質問等についての懇談のなかで、様々なご指導・ご助言を頂きました。

例会においては、「RIテーマと地区運営」についてパワーポイントを使用しながらの卓話では、当クラブのHPよりDLした写真を交えながらわかりやすくお話しされ、ロータリアンとしてRIについて再認識すると共に取り組むべき事を改めて確認致しました。

クラブ協議会では、各部門常任委員長が委員会の事業方針・活動状況等の発表において、三國ガバナーより講評を頂きました。三國明ガバナー・山本孝ガバナー補佐、長時間にわたりご指導頂き大変有意義な一日となりました。誠に有難う御座いました。



▶ 大宮中央RC ◀



例会日：平成23年7月26日(火)

会長：勝野 由行/幹事：酒井 正次

7月26日(火)三國ガバナーにおかれましては当年度15クラブ目、当日は2クラブ目のクラブとして大宮中央ロータリークラブをご訪問頂きました。

お疲れにも拘わらず、会長・幹事面談、クラブ協議会、例会を通じて全ての部分において懇切丁寧なそして情熱のこもったご指導を頂き、懇親会を含め4時間半のお付合い頂き有難うございました。三國ガバナーそして前週よりご指導頂きました岩崎ガバナー補佐に心より感謝申し上げます。



▶ 浦和中 RC ◀

例会日：平成23年7月28日（木）

会長：佐藤 美好／幹事：梶間 順子

7月28日（木）公式訪問が行われた。第1グループ鈴木眞ガバナー補佐を同席してさいたま商工会議所会館3階会頭室でガバナー面談。例会場である同会館2階第1ホールで公式訪問例会・ガバナー卓話が行われた。

三國ガバナーは、パソコン・プロジェクター等の機材を詰めたキャリーバックを曳き、単身、徒歩で現われ、パソコンを見事に駆使し会員を圧倒した。クラブ協議会では、クラブ管理運営・プログラム・親睦・出席・広報・奉仕プロジェクト・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代・会員増強維持・ロータリー財団・米山記念奨学・長期計画・会場監督・会計の各部門の各担当委員長が年度計画を発表し、三國ガバナーから講評をいただいた。

特に、会員による会員のための例会プログラム、児童養護施設へのスキー教室の提供、会場監督のアイデア、ネットバンキング採用検討、ひと工夫した例会案内についてお褒めの言葉をいただき、鈴木ガバナー補佐が会員増強に対する熱意、友好クラブである仙台青葉RCと連携した復興支援、青少年交換など印象に残ったと総括された。当日は、出席算定会員31名のうち30名が出席、年度来の高出席率となった。

特に、会員による会員のための例会プログラム、児童養護施設へのスキー教室の提供、会場監督のアイデア、ネットバンキング採用検討、ひと工夫した例会案内についてお褒めの言葉をいただき、鈴木ガバナー補佐が会員増強に対する熱意、友好クラブである仙台青葉RCと連携した復興支援、青少年交換など印象に残ったと総括された。当日は、出席算定会員31名のうち30名が出席、年度来の高出席率となった。

▶ 杉戸・杉戸中央RC 合同公式訪問レポート ◀

例会日：平成23年8月2日（火）

●杉戸中央RC 会長：真中 博克／幹事：深瀬英太郎

8月2日（火）三國明ガバナーをお迎えし、杉戸・杉戸中央RC 合同公式訪問を開催いたしました。合同は、初めての経験ですが、親クラブである杉戸RCの協力もあり大変スムーズに進行することができました。ガバナー面談では、狭い地域にある2つのクラブという問題点について、年齢層が違うそれぞれの特徴をいかし、協力し合って奉仕活動を行うことは可能であると事例を含めたアドバイスをいただきました。



例会では、今年のRIテーマ「心の中を見つめよう、博愛を広げるために」にこめた、RI会長のお考えをPPでわかりやすく説明していただきました。クラブ協議会においては、各委員長の発表ごとに、大変丁寧にご指導いただき感謝しております。また、この度の合同公式訪問を受けるにあたり、第6G田中ガバナー補佐には、大変お世話になりありがとうございました。

●杉戸RC

会長：篠原 達幸／幹事：下津谷忠男

私は、ガバナー訪問の日を大変緊張して迎えました。例会の前の懇談会において、気さくに話しかけて下さるガバナーに、心が安らいでまいりました。

ガバナーから今の杉戸クラブの現況と計画は？と聞かれ、“小学校に図書を5ヶ年計画で贈りたいこと、古利根川の土手に桜の木を更に増やすお手伝いをしたい”と申しました。大変賛同して頂きました。「ただ、お金等の支援だけでなく、共に汗を流すような活動にしてください」との助言も頂きました。

当日は協議会において、色々ご指導を頂き、有意義な一日となりました。

有難うございました。

文庫通信 (287号)

◆ 地区大会等の記録から ◆

◎「よい生き方ができる組織の増強を/地域社会と世界平和のために

『挑戦』を」田中作次 2011 2p (D. 2580/D. 2770)

◎「RI理事会報告・財務見通し5ヶ年計画」黒田正宏 2011 3p(第39回ロータリー研究会報告書)

◎「国際ロータリーの現状とこれからのロータリー」小沢一彦 2011 3p(D. 2560)

◎「新しい長期計画とクラブの活性化」南園義一 2011 5p (D. 2780)

◎「職業奉仕の原点」深川純一 2011 3p (D. 2580)

◎「『地域を育み、大陸をつなぐ』の実践—国際奉仕への

取り組み(シンポジウム) 塚原房樹(コーディネーター) 2011 14p (D. 2510)

◎「元米山奨学生として」徐重仁 2011 2P (D. 2780)

◎「中国人から見た日本の現状」張旭梅 [2011] 7P (D. 2800)

[申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館=午前10時~午後5時

休館=土・日・祝祭日

ロータリー財団	大口寄付 47,407.5 \$ ベネファクター	大口寄付 27,725 \$	大口寄付 13,982 \$	大口寄付 12,000 \$	大口寄付 11,000 \$	大口寄付 10,534.76 \$	
	本人の希望により掲載しません						
	東条和彦 (大宮東) 平成23年7月11日	大塚信郎 (上尾) 平成23年7月28日	渋谷廣慶 (大宮西) 平成23年7月26日	近藤敬男 (蓮田) 平成23年7月25日	栗原正博 (蓮田) 平成23年7月25日	長谷川廣良 (越谷南) 平成23年7月19日	
	M-P-H-F (9)	M-P-H-F (6)	M-P-H-F (6)	M-P-H-F (5)	M-P-H-F (5)	M-P-H-F (4) ベネファクター	M-P-H-F (4)
							
	石塚栄一 (大宮中央) 平成23年7月20日	川澄吉夫 (八潮) 平成23年7月13日	深田博明 (蓮田) 平成23年7月25日	高橋光男 (大宮東) 平成23年7月22日	高橋誠一 (大宮西) 平成23年7月26日	波多野勝治 (蓮田) 平成23年7月25日	本橋敏男 (蓮田) 平成23年7月25日
M-P-H-F (4)	M-P-H-F (3)	M-P-H-F (3)	M-P-H-F (3)	M-P-H-F (3)	M-P-H-F (3)	M-P-H-F (3)	
							
本川 央 (大宮北) 平成23年8月3日	山田宗一 (大宮東) 平成23年7月15日	勝野由行 (大宮中央) 平成23年7月20日	坂 仁視 (大宮中央) 平成23年7月20日	切敷健一 (大宮中央) 平成23年7月20日	川田金造 (蓮田) 平成23年7月25日	土橋藤男 (蓮田) 平成23年7月25日	
M-P-H-F (3)	M-P-H-F (3)	M-P-H-F (2)	M-P-H-F (2)	M-P-H-F (2)	M-P-H-F (1)	P-H-F	
					本人の希望により掲載しません		
八鍬伸一 (蓮田) 平成23年7月25日	徳永誠三 (大宮中央) 平成23年7月26日	東山 大 (大宮中央) 平成23年7月20日	桐田直樹 (蓮田) 平成23年7月25日	古塚明人 (蓮田) 平成23年7月25日	林 妙子 (大宮中央) 平成23年7月20日	鈴木健太郎 (大宮東) 平成23年8月2日	
P-H-F	ベネファクター	ベネファクター	ベネファクター	ベネファクター	ベネファクター	ベネファクター	
							
滝澤弘樹 (八潮) 平成23年7月13日	志村 広 (大宮東) 平成23年7月1日	野辺 博 (さいたま新都心) 平成23年7月5日	森田武司 (大宮北東) 平成23年7月6日	長嶋成憲 (大宮東) 平成23年7月11日	泉 英明 (大宮中央) 平成23年7月20日	岩淵孝男 (大宮中央) 平成23年7月20日	

東日本震災復興基金



千代 邦夫
(大宮東)
平成23年 8月 9日

訃報 ◆ 謹んでお悔やみ申し上げます。



月岡良太郎 会員
(浦和)
平成23年 7月23日
享年82歳

米山奨学会

米山功労者メジャードナー(30)



吉田 肇
(川口西)
平成23年 7月20日

米山功労者メジャードナー(17)



大塚 信郎
(上尾)
平成23年 7月28日

米山功労者メジャードナー(14)



久世 晴雅
(大宮中央)
平成23年 7月20日

米山功労者メジャードナー(12)



鯨岡 文夫
(蓮田)
平成23年 7月22日

米山功労者メジャードナー(11)



浅野 宣勝
(草加中央)
平成23年 7月20日

米山功労者メジャードナー(11)



岩渕 孝男
(大宮中央)
平成23年 7月20日

米山功労者メジャードナー(11)



林 正憲
(大宮中央)
平成23年 7月20日

米山功労者メジャードナー(11)



高橋 誠一
(大宮西)
平成23年 7月26日

米山功労者マルチプル(9)



長谷川 廣良
(越谷南)
平成23年 7月26日

米山功労者マルチプル(8)



星野 秀敏
(大宮)
平成23年 7月26日

米山功労者マルチプル(7)



土橋 藤男
(蓮田)
平成23年 7月22日

米山功労者マルチプル(7)



内海 敏雄
(大宮西)
平成23年 7月26日

米山功労者マルチプル(5)



石井 秀幸
(大宮中央)
平成23年 7月20日

米山功労者マルチプル(5)



中川 高志
(大宮)
平成23年 7月26日

米山功労者マルチプル(5)



勝野 由行
(大宮中央)
平成23年 7月20日

米山功労者マルチプル(5)



酒井 正次
(大宮中央)
平成23年 7月20日

米山功労者マルチプル(5)



品川 喜久郎
(大宮中央)
平成23年 7月20日

米山功労者マルチプル(5)



守屋 実
(大宮中央)
平成23年 7月20日

米山功労者マルチプル(5)



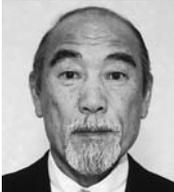
十川 英男
(蓮田)
平成23年 7月22日

米山功労者マルチプル(5)



本川 央
(大宮北)
平成23年 7月28日

米山功労者マルチプル(4)



町田 宏遠
(大宮中央)
平成23年 7月20日

米山功労者マルチプル(4)



細野 宏道
(上尾)
平成23年 7月28日

米山功労者マルチプル(3)



山田 宗一
(大宮東)
平成23年 7月15日

米山功労者マルチプル(3)



長谷川 政功
(大宮中央)
平成23年 7月20日

米山功労者マルチプル(3)



川田 金造
(蓮田)
平成23年 7月22日

米山功労者マルチプル(3)



黒須 雅行
(蓮田)
平成23年 7月22日

米山功労者マルチプル(3)



中野 政廣
(蓮田)
平成23年 7月22日

グループ	クラブ名	2010年7月1日現在		当月末会員数		増減	目標 新会員	通算 新会員	当月		通算 出席率 順位
		内女性	内女性	内女性	内女性				出席率	順位	
第一グループ	浦和	101	0	99	0	-2	5	0	80.59	59	59
	浦和東	78	2	79	2	1	3	1	94.38	7	7
	浦和南	29	0	29	0	0	3	0	94.6	5	5
	浦和中	36	2	35	2	-1	5	0	91.94	16	16
	浦和ダイヤモンド	20	11	19	11	-1	2	0	90	20	20
	第1グループ計	264	15	261	15	-3	18	1	90.3		
第二グループ	浦和北	70	3	71	3	1	10	1	93.3	12	12
	さいたま中央	45	1	45	1	0	3	0	83.89	44	44
	浦和西	20	3	20	3	0	4	0	85.14	39	39
	浦和北東	42	1	42	1	0	6	0	76.25	66	66
	さいたま新都心	40	0	40	0	0	4	2	93.86	10	10
	第2グループ計	217	8	218	8	1	27	3	86.49		
第三グループ	大宮	52	0	53	0	1	10	1	80.84	58	58
	大宮南	35	5	37	5	2	5	2	81.08	56	56
	大宮中央	48	0	48	0	0	5	0	75.53	71	71
	大宮南東	7	2	10	2	3	3	4	78	65	65
	大宮シティ	62	5	63	5	1	8	1	80.88	57	57
	さいたま櫛	21	0	21	0	0	3	0	76.19	67	67
	第3グループ計	225	12	232	12	7	34	8	78.75		
	第四グループ	大宮西	66	0	67	0	1	20	1	83.76	47
岩槻	29	4	29	4	0	2	0	49.23	80	80	
大宮北	22	1	22	1	0	3	0	86.77	29	29	
大宮南西	9	1	9	1	0	2	0	74.99	73	73	
大宮東	36	0	38	0	2	5	2	92.47	14	14	
岩槻東	29	1	29	1	0	3	0	85.34	38	38	
大宮北東	16	2	16	2	0	3	0	93	13	13	
岩槻中央	14	0	14	0	0	1	0	82.14	52	52	
第4グループ計	221	9	224	9	3	39	3	80.96			
第五グループ	上尾	39	1	39	1	0	3	0	87.18	26	26
	鴻巣	27	0	27	0	0	3	0	94.44	6	6
	桶川	22	0	22	0	0	2	0	75.3	72	72
	上尾西	41	0	41	0	0	5	0	89.88	21	21
	北本	8	0	8	0	0	2	0	85.5	36	36
	上尾東	19	0	19	0	0	2	0	81.58	54	54
	上尾北	27	0	27	0	0	3	0	92.42	15	15
	鴻巣水曜	31	3	31	3	0	3	0	75.83	70	70
	桶川イブニング	16	0	16	0	0	2	0	70.31	77	77
	第5グループ計	230	4	230	4	0	25	0	83.6		
第六グループ	春日部	41	0	41	0	0	5	0	94.01	8	8
	杉戸	26	1	27	1	1	2	1	74.3	75	75
	春日部西	35	2	34	2	-1	3	0	79.58	62	62
	庄和	19	0	20	0	1	1	1	93.57	11	11
	春日部南	28	4	29	4	1	5	1	74.5	74	74
	春日部イブニング	22	1	22	1	0	3	0	82.57	49	49
	杉戸中央	24	0	24	0	0	2	0	76.04	69	69
	第6グループ計	195	8	197	8	2	21	3	82.08		

グループ	クラブ名	2010年7月1日現在		当月末会員数		増減	目標 新会員	通算 新会員	当月		通算 出席率 順位
		内女性	内女性	内女性	内女性				出席率	順位	
第七グループ	幸手	41	2	42	2	1	5	1	91.01	18	18
	蓮田	33	0	36	0	3	6	3	87.31	25	25
	久喜菖蒲	57	4	57	4	0	6	0	86.48	30	30
	栗橋	12	0	12	0	0	2	0	95	4	4
	幸手中央	24	1	24	1	0	3	0	69.79	78	78
	第7グループ計	167	7	171	7	4	22	4	85.92		
	第八グループ	越谷	80	2	80	2	0	5	0	81.86	53
越谷南	51	3	50	3	-1	5	1	83.53	48	48	
越谷北	51	0	51	0	0	5	0	80.37	61	61	
越谷東	47	6	47	6	0	2	0	85.59	35	35	
越谷中	12	0	12	0	0	2	0	82.3	51	51	
第8グループ計	241	11	240	11	-1	19	1	82.73			
第九グループ	草加	18	2	18	2	0	5	0	66	79	79
	八潮	47	4	47	4	0	12	0	89.24	22	22
	草加南	12	1	11	1	-1	2	0	85.41	37	37
	八潮イブニング	24	0	24	0	0	4	0	84.37	43	43
	草加イブニング	11	0	11	0	0	2	0	86.36	31	31
	八潮中央	15	0	15	0	0	3	0	96.66	2	2
	草加中央	23	0	23	0	0	2	0	83.83	45	45
	八潮シティ	9	0	9	0	0	2	0	80.55	60	60
	草加21	8	3	9	3	1	3	1	85.76	34	34
	第9グループ計	167	10	167	10	0	35	1	84.24		
第十グループ	吉川	31	1	31	1	0	5	0	87.1	27	27
	三郷	30	2	30	2	0	3	0	87.5	24	24
	三郷中央	17	0	18	0	1	3	1	100	1	1
	三郷ウェンズデー	20	2	20	2	0	4	0	85.14	39	39
	松伏	11	3	11	3	0	4	0	90.9	19	19
	第10グループ計	109	8	110	8	1	19	1	90.13		
第十一グループ	川口	82	11	83	11	1	5	2	78.4	64	64
	鳩ヶ谷	25	0	25	0	0	0	0	86.86	28	28
	川口東	19	1	19	1	0	5	0	88.24	23	23
	川口・鳩ヶ谷武南	26	2	26	2	0	2	0	76.18	68	68
	川口モーニング	26	1	26	1	0	5	0	95.38	3	3
	川口南	31	4	31	4	0	2	0	71.99	76	76
	鳩ヶ谷シティ	14	0	14	0	0	3	0	83.79	46	46
	第11グループ計	223	19	224	19	1	22	2	82.98		
第十二グループ	戸田	52	5	52	5	0	3	0	84.5	42	42
	蕨	26	1	26	1	0	3	0	86.25	32	32
	川口西	27	3	27	3	0	3	0	78.8	63	63
	戸田西	29	1	29	1	0	2	0	81.48	55	55
	川口北	33	2	33	2	0	20	0	85.78	33	33
	川口北東	28	4	29	4	1	5	1	91.03	17	17
	川口中央	13	1	13	1	0	2	0	93.91	9	9
	川口むさし野	19	1	18	1	-1	3	0	82.37	50	50
	戸田イブニング	18	0	18	0	0	3	0	84.72	41	41
	第12グループ計	245	18	245	18	0	44	1	85.43		
	地区合計	2504	129	2519	129	15	325	28	84.16		

財団奨学学友小委員会第1回オリエンテーション

財団奨学・学友小委員長 増渕 一夫



平成23年7月24日、財団奨学学友小委員会第一回オリエンテーションが終わりました。

三國明ガバナー、岩渕均パストガバナー、田中徳尚ガバナー・エレクト、鈴木英男財団部門委員長、増渕一夫財団奨学学友小委員長を初めとして、28名によるオリエンテーションが、ガバナー事務所にて開催されました。

議題は、東日本大震災からの復興と日本経済発展のための戦略について、のテーマで一人15分話して頂きました。2012年～2013年度派遣地区補助金奨学生 武田和歌子さんと西川裕之君そして同じくグローバル補助金奨学生の太塚桃子さん長棟紗希さん等そうそうたるメンバーだけあって、大変立派で為になるスピーチでした。このような学生たちが世界平和に貢献し社会のためになって頂けることが、私達財団委員会の目的でもあります。また学友になられた方々にも、ロータリー学友によるクラブの設立を計画していただき三國ガバナー年度にできるだけ早く立ち上げたいと望んでいる次第です。簡単ではございますが、第一回オリエンテーションの報告とさせていただきます。

川口北RC 社会奉仕委員会事業 チャリティ映画上映開催について

2011～2012年度会長 谷口 顕

幹事 磯 利昭



7月31日（日曜日）午前の部と午後の部2回の東日本大震災復興支援事業としてチャリティ映画会を、川口

スキップシティの映像ホールにて行いました。

上映した映画の題名は『10万年後の安全』で福島第一原発事故後、マスコミにも取り上げられている映画で、核燃料の最終処分言い換えれば放射性廃棄物の埋蔵を取り上げた内容で、ロータリアンのみならず



多くの一般参加者の入場を頂きました。

入場料の50%はチャリティ収入としておりましたので、当日の募金と合わせ約15万円を大震災の被災地域への支援とすることができました。

奉仕事業の多角的な展開による地域社会との連携や、奉仕の仲間作りが楽しく実感できた、活力ある充実した日曜日となりました。



東北支援隊喜多方へ行く

岩槻中央ロータリークラブ 瀧田 和雄



この度の東北支援隊としての企画は、震災、原発、風評被害で苦しんでいる喜多方市はじめ福島県ひいては東北全域に対して『我が岩槻中央ロータリークラブが何か出来ることはないであろうか』という発想から出発したものであった。

きっかけは当クラブ会員が読売新聞で『喜多方は観光客が激減している。大型バスは一台も来ない。』という記事を見たことであった。その後幾度となく協議を重ねた結果、先ず手探りではあるが『先ず行動が先だ』とのことでの今回の訪問になった。何故喜多方を選んだかと言うと、12年前に当クラブと友好クラブを締結し毎年相互訪問をしていることと偶然相まったことであった。

わがクラブとして特別な具体策は全くもち合わせない状態の訪問であったが、現地に赴いて直接身近で体験している現地ロータリークラブの実情を伺って、ヒントを見出せればと考えた。

7月31日、今回の企画に関心を寄せていただいた国際部門委員長の隅内さんと親クラブである岩槻東ロータリークラブからも3名の参加をいただき総勢16名で岩槻を出発した。

ラーメンの街喜多方に着いたのが昼時であったが、チェーン店を営む経営者は『震災以来観光客は近隣の街から日曜祭日に自家用車で来るくらいで、大型観光バスは皆無である。売り上げは半分以下で泣くに泣けない』と音を上げていた。

午後から喜多方ロータリークラブとの合同懇談会では、隅内部門委員長から2770地区の企画している『みちのく復興支援；クラブ親睦旅行推奨』他について趣旨説明があり、風評被害に苦しむ被災地とその集権の地域の人々に『元気回復』支援をして頂きたいとの話をしていた。その後「両クラブでどのような支援活動が可能か」について活発な議論が行われた。喜多方ロータリークラブの会員から『このままでは福島が日本から消えてしまうかもしれない』との悲痛な当事者ならではのお話には胸を打つものがあり、そうした『心からの叫び』に接し、私どもは多くの事柄を学ぶことが出来た。既に喜多方RCは数々の支援活動を行ってきたが、現在東北震災復興基金にIA、RAを巻き込んだ地場産業の風鈴に絵付けをして短冊に支援の文言を書いて被災地に送る企画を申請中とのことであった。喜多方の『具体的な問題点が出てきたら相談するからその時に一緒にやろうではないか』との結論で懇談会を締めくくった。

実際に具体的な支援活動案は示されなかったが、今回の訪問が今後の両クラブとの合同支援活動のきっかけになればとの思いを胸に帰路に就いた。

